



WC2 ("白のトイレ") / 内観

Cocoon

高揚感をもたらす驚きの演出を籠めた、“白のトイレ”と“黒のトイレ”

店名が表す“繭”をイメージした三次元曲面の空間造形が印象的な美容室・Cocoon(ココーン)。店内の意匠を取り入れつつ、インテリアを白と黒で統一した2つのトイレには、快適性の高い器具と非日常感を高める驚きの仕掛けが同居。店舗トイレの進化とこれからのあり方を感じさせる、独創的な空間となっている。

DATA

設計：日吉坂事務所株式会社
 施工：株式会社バウハウス丸栄
 所在地：東京都渋谷区神宮前5-6-5
 竣工：2012年11月

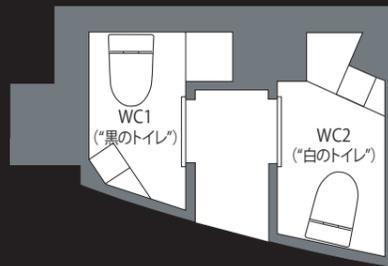
商品情報

大便器：GBC-S12S・DV-S424A
 内装壁タイル：JX-200/PP-11 (GIO PONTI TILE'S)

※使用タイル：ジオ・ポンティのタイルについて
 (ホテル・パルコ・ディ・プリンチピ)の幾何学模様のタイル。
 LIXILものづくり工房が2006年から再現し試作。
 オリジナルのタイルの青の範囲の中で、日本の光に合うように色を調整し、ジオ・ポンティアークイプスの承認を得て昨年秋に製品化。



外観



平面図

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

トイレ入り口まわり



WC1 ("黒のトイレ")



通路に向かって左がWC1 ("黒のトイレ")、室内で引き戸を開けると、戸の裏側から巨大なガラス製の照明と光が現れる"黒のトイレ"。大便器は節水性が高く、モダンな空間にもすっきりと調和するサティスS+スマートリモコンを採用。便器の前方には黒で統一された洗面器と洗面台、化粧鏡が設けられている。

WC2 ("白のトイレ")



"白のトイレ"の入り口を開けると、いちばんに目に入るのは、便器の後方隅の壁に張られた色鮮やかなブルーの装飾タイル。イタリアモダンデザインの父、ジオ・ポンティによるデザインタイルを再現したもので、軽やかで温もりのあるデザインが白で統一された空間を鮮麗に彩り、訪れる人に高揚感とインスピレーションをもたらしてくれるかのよう。

店舗内観



"繭"のように細長い店舗スペースは、三次元曲面を持つ何枚ものアーチ状の間仕切り壁によってエリアごとに緩やかに隔てられており、奥行きも楽しめる空間となっている。また、内装を構成するコンクリート素地現し、多様なモザイクタイルは、それぞれの個性を活かしつつも互いを引き立てるように配置されており、空間に強い印象を生み出している。